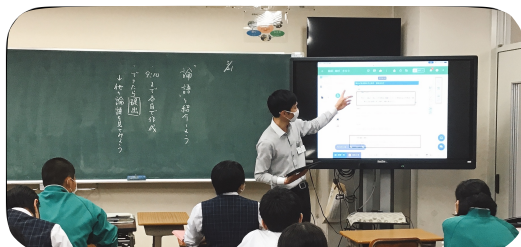


B 個別学習

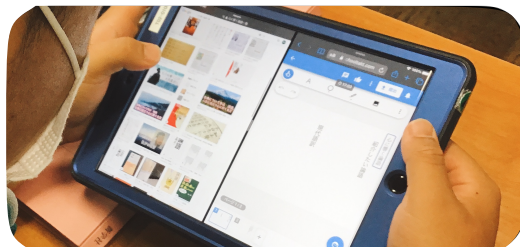
B4 表現・制作

学習の目標

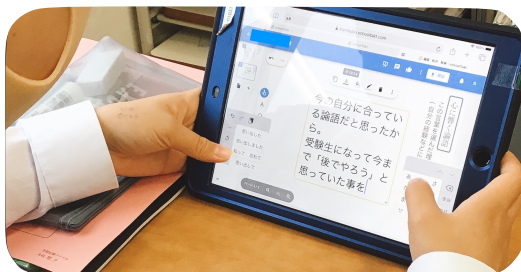
自分たちの生活に生かしていきたい言葉や、自らを励ます言葉、友達や後輩に贈りたい言葉を見つける。



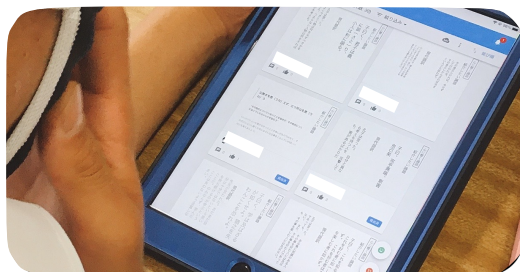
①今までの学びを生かして「論語」を紹介しよう。教科書で紹介されている「名言」だけではなく自分の「心に響く」名言をネットワークから探し出します。ここには時間をかけないようにしましょう。



②iPadを2画面表示にして紹介したい「名言」をネットワークから探して、schoolTaktの画面に貼り付けます。紙に書き出す手間がいらないので作業は短時間で済みます。ICTを活用して時間を節約し学習を効率化します。

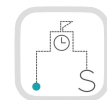


③言葉を選んだ理由を、自分の経験などに触れながら文章にしていきます。時間をかけて文章を書くことができます。この活動に時間がかけられるのは、②で時間を節約した結果です。ICTを活用した学習の効率化と高度化です。（右図参照）



④友達が選んだ「名言」の紹介文に「いいね」を押したり、コメントをしたりします。友達が自分の経験に触れながら書いた文章なので、自然と共感するコメントがたくさん寄せられていきます。

東部中学校 国語科 下條将先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

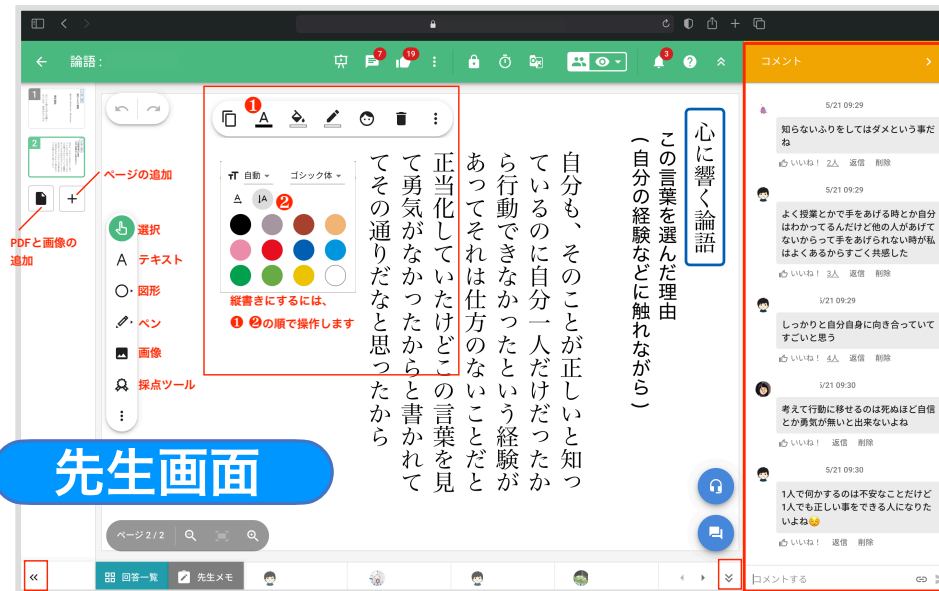


schoolTakt

schoolTaktはいろいろな学習場面で

活用することができます

今回、紹介している単元の目標は「歴史的背景に注意して『論語』を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。」「人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。」ことです。生徒はネットを検索し「学習目標」にあった言葉を探します。その上で「どうしてその言葉を選んだのか」を文章にまとめていきます。自分の経験を紹介しながら、友達や後輩に贈ることを意識して綴っていきました。



先生画面

ページナビゲーション非表示 参加者タブ非表示

「個別学習」の後、友達の書いた「心に響く論語」の名言の紹介文を読み合い「いいね」を押したり、「コメント」をしたりしていきます。中学1年生の頃から道徳や他教科などいろいろな学習場面で活用してきたことによって、生徒の中にネットリテラシーが育まれ、学びの本質に迫るコメントが書き込まれています。